

諏訪湖周クリーンセンター建設

ecopo通信



■環境影響評価(環境アセスメント)事後調査結果

県条例に基づく環境影響評価結果から、「本事業の実施による環境への影響の程度は総合的に小さい」と評価しましたが、動物の現地調査において猛禽類の古巣、フクロウ類の営巣が確認され、またノスリの生息の可能性も示唆されたため、工事中における猛禽類への影響の有無を確認する事後調査を実施しました。その結果、ハチクマのディスプレイ、ノスリのディスプレイや餌運搬など、繁殖を示唆する行動が確認されましたが、ハチクマは繁殖の確認はなく、ノスリは幼鳥が確認されたものの、繁殖巣の確認には至りませんでした。また、その他の希少猛禽類は飛翔等の確認のみでありました。これらは、環境影響評価調査時とほぼ同様の結果であり、解体工事に伴う希少猛禽類への影響はほとんどないものと判断しました。今後新施設建設工事が継続されるため引き続き同様の事後調査を実施していきます。

Table with 3 columns: 種名 (Species), 今回調査 (This Survey), 評価書段階調査(平成24年) (Evaluation Book Stage Survey (Heisei 24)). Rows include species like ミサゴ, ハチクマ, ツミ, ハイタカ, オオタカ, サシバ, ノスリ, クマタカ, フクロウ, チョウゲンボウ, ハヤブサ, and 林内踏査 (Forest Floor Survey).

○有識者ヒアリング結果

日本野鳥の会諏訪会長、林正敏氏の見解は以下のとおり。

- 調査結果は、環境影響評価時とほぼ同様の結果であり、「解体工事に伴う希少猛禽類への影響はほとんどない」との判断は妥当。
クマタカは本来、奥地で生息しており、あまり飛翔は確認されないが、今回の調査でペアを含め数回確認されたことを鑑みると、クマタカの生息域が里に下りてきている可能性がある。
調査範囲内においてフクロウの幼鳥が頻りに鳴いているのを確認しているので調査時期を変えてみるのも有効。



新たに確認した古巣

少量の糞痕



現地で撮影した希少猛禽類

クマタカ(2月26日撮影)

○保全対策検討結果

解体工事における保全対策につきましては、環境影響評価書に記載した環境保全措置、具体的には「工事区域に仮囲いを設置」すること、「低騒音・低振動機械を使用」すること、「建設機械の稼働時間を厳守」することを適宜・適切に実施しました。実際の騒音・振動の測定結果も評価書における予測値レベルであり、その影響を最小限に抑えることができた。

今後、建設工事におきましても、引き続き同様の保全措置を講じてまいります。

Table titled <建設作業騒音・振動測定結果> (Construction Work Noise and Vibration Measurement Results). It shows predicted vs. actual results for noise and vibration in dB across different directions (Northwest, Northeast, Southeast, Southwest).

注: 予測は敷地境界線上



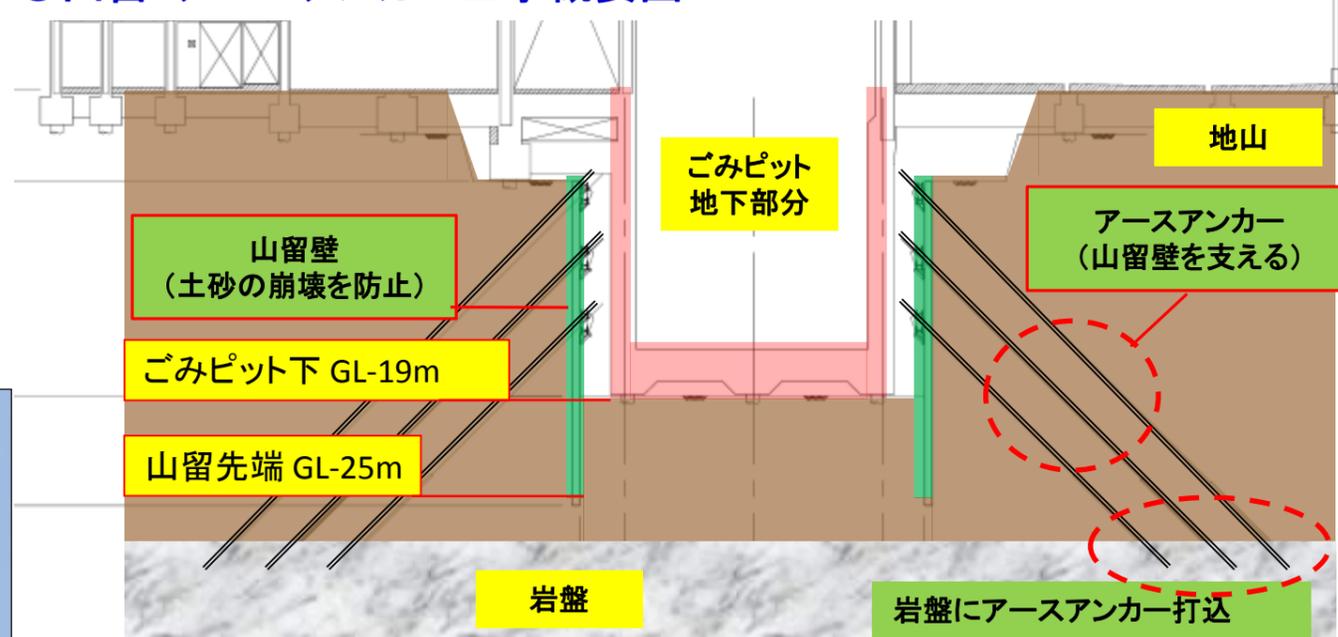
低騒音機械

事後調査結果の詳細につきましては、湖周組合のホームページをご覧ください。
組合HP: http://www.kosyu.or.jp/

■杭設置工事が完了し、掘削・山留工事が始まりました。

9月8日に着工した杭工事は、10月23日に全156本の杭設置を終えました。地層の状況は事前に行ったボーリング調査と同様であり、計画通り強固な岩盤に杭を設置することができました。工事は順調に進んでおり、現在は建物地下部の工事を施工しております。焼却炉の基礎となる地下2~3mの浅い部分の掘削工事を開始するほか、ごみピットとなる地下19mと深い部分の工事を行うため、山留・アースアンカー工事を施工しています。

●山留・アースアンカー工事概要図



■工事進捗状況

①諏訪湖周クリーンセンター整備工事

- 10月23日に最後の杭の設置を完了しました。
- 炉室部分の掘削工事、ごみピットの山留工事を開始しました。



杭工事機械 稼働状況



杭設置状況



掘削工事 状況



山留設置状況

②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 盛土工事及び補強土壁工事
敷地東側の補強土壁工事を行いました。



補強土壁全景



補強土壁全景

■今後の予定

●●●10月の工事予定●●●

①諏訪湖周クリーンセンター整備工事

- 炉室部分は11月から基礎・地中梁工事
- ごみピット部分は引き続き山留・掘削工事

②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 敷地東側盛土工、排水工を行います。



基礎・地中梁工事(イメージ)

■敷地全体状況

9月下旬時点



10月下旬時点



発行元 諏訪湖周クリーンセンター整備事業に関連する工事等連絡協議会
タクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体 連絡先: 78-7143
株式会社岡谷組 連絡先: 23-7285
湖周行政事務組合 連絡先: 23-4811(内線1443・1444)